

ハイブリットガス給湯器 「ECO ONE」を 使ってみませんか

ホームガス課 上田 耕也



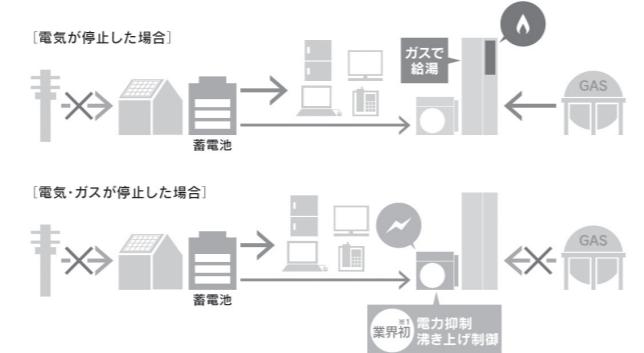
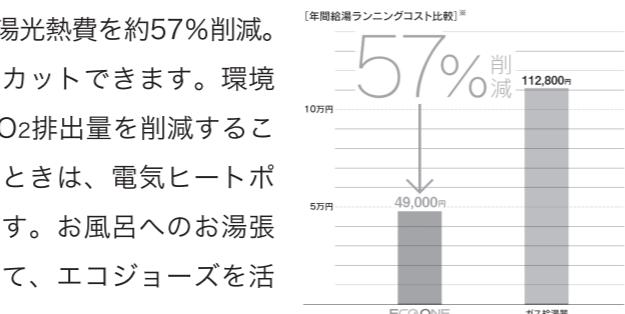
家庭で使用されるエネルギーのうち、給湯と暖房を合わせると約52%、全体の半分以上を占めているそうです。つまりお湯と暖房を上手に使えば光熱費は大幅にカットできるということです。そこで今一番のおすすめが「ECO ONE」です。

オール電化住宅で使用されている給湯システムはエコキュートが一般的になっています。空気の熱でお湯を沸かすヒートポンプを使用して、暖めたお湯をタンクに貯湯しながら使用するシステムです。オール電化住宅で使用されるエコキュートと、今回紹介するエコワンの大きな仕組みの違いは、エコワンにはガス給湯器が内蔵されています。電気×ガソリンを上手に組み合わせたハイブリットカーのように、電気×ガスを組み合わせて上手にお湯を作るのがエコワンです。熱効率の良い電気と、パワフルなガスのいいとこ取りなハイブリット技術によって、省エネ性・経済性・環境性が高められています。

中でも省エネ性においては、従来のガス給湯器と比べ給湯光熱費を約57%削減。電気温水器や灯油給湯器と比べても給湯コストを大幅にカットできます。環境性においても従来のガス給湯器と比べ年間約58%ものCO₂排出量を削減することができます。例えばキッチンや洗面でお湯を使用するときは、電気ヒートポンプで効率よく沸かし上げたお湯をタンクから供給します。お風呂へのお湯張など、お湯を大量に使用するときはタンクのお湯に加えて、エコジョーズを活用し必要湯量をサポートするというものです。

また、給湯だけでなく暖房機能にも対応。ガス温水式床暖房を同時導入すれば、立ち上がりはエコジョーズで素早く部屋を暖め、定常時はヒートポンプで沸かした省エネのお湯を循環して室温キープ…というように快適性と光熱費削減を両立した暖房を使用できる。こうして家庭内の給湯・暖房エネルギーを見直すことで、毎月の光熱費がお得になり家計も助かります。

さらにエコワンは災害時にも強いところが見逃せません。「緊急時対応モード」によりガスが遮断した場合、ガスの供給が止まっても電気で動くヒートポンプだけで給湯します。タンクのお湯が少なくなるとタンク沸き上げを開始します。停電になった場合は、市販の非常用発電機、もしくは太陽光発電の自立運転コンセントにガス熱源機の電源プラグを接続するだけでガス熱源機のみでお湯をつくることができます。設置も簡単で、スペースに合わせて機器の向きを変えることにより今まで設置できなかった狭小地にも設置が可能になりました。現場に応じた柔軟なレイアウトで施工をスムーズにします。電気とガスのハイブリットが快適な生活を皆様にお届けします。



アポロ新聞

「ディアウォール」って いつたいなあに?

総務課 橋本 純子

実は最近気になるものがあります。その名も“ディアウォール”!! 皆さんは壁に心置きなく穴をあけて物を飾り、思いのままに空間づくりをしたいと思われたことはありませんか? なんとそれを実現できてしまうグッズが冒頭のディアウォールなのです! 最近ではDIYをされる方も多いので、ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんね。今回はそんな魅力的なグッズをご紹介させていただきます!



《ディアウォールとは?》

2インチ×4インチの角材を天井と床に突っ張らせ、柱を簡単に作成する為の道具です。ディアウォールの中がバネになっており、角材の両端（上下）をディアウォールに差し込んで使用します。その柱を起点にして壁を作ったり棚を作ることができます。アパートなどで壁に穴をあけたくない方、クロスの裏に柱がない方などにも手軽に部屋をリメイクすることができる所以人気があるようです。ホームセンターなどでだいたい1,000円前後で購入することができますよ。

【使用方法】

- ①柱を立てたい場所の天井高を計測する（ここが一番大事なので慎重に計測して下さい）
- ②2×4材を用意する（ホームセンターで購入可能）
- ③2×4材にディアウォールをセッティングする

（バネの入っている方を天井側に、入っていない方を床側にして天井を押し上げながら垂直に立てる）
以上です。

「え? それだけ?」 そうなんです。基本的にはこの工程で柱を作成させることができます。
思ったよりもハードルが低いですよね? それも人気の1つなのかもしれませんね。



【注意したい点】

2×4材は慎重に選んでください。模様や節が全て違います。また、天然素材なので反っていることもありますが、なるべく真っ直ぐなものを購入して下さい。もう一つ大切なことは、天井の長さに合わせて2×4材をカットしなければなりませんが長さが合わないと突っ張らせることができません。自己の好みや判断によりますが、ネットなどで調べてみると少しきついくらいが良いようで、天井の高さから40mmマイナスするのがおすすめだそうです。初めて作業される方は是非いろいろな方の事例を調べてみて下さい!



意外にディアウォールは耐荷重があり、柱に自転車を掛けたり、テレビを掛けたり、可動棚を作成し収納場所をつくったり、間仕切りとして壁を作成して部屋自体を区切ることだってできてしまいます。諦めていた空間が手に入るかもしれません。アイデア次第で自由自在に部屋の雰囲気を変化させることができますよ♪